

日本天文学会 1982 年春季年会

プログラム

日 時 昭和 57 年 5 月 17 日 (月)~21 日 (金) 午前 9 時~午後 5 時

場 所 東京大学理学部 2 号館講堂 (赤門脇) 電話 03-812-2111 (大学) 内線 4018
〒113 東京都文京区本郷 7-3-1

午前	9 時	10	11	12	午後	1	2	3	4	5	講演番号
5 月 17 日 (月)	太陽系, 太陽					太 陽					1~ 45
5 月 18 日 (火)	恒 星			理 事 会	恒星, 高エネルギー天文学					46~ 89	
5 月 19 日 (水)	星間物質・星雲			評議員会	星間物質 星 雲	観測機器 情報処理	総 会	懇 親 会		90~126	
5 月 20 日 (木)	観測機器・情報処理			写 真	観測機器 銀河系 銀 河 情報処理, 恒星系, 宇宙論					127~169	
5 月 21 日 (金)	銀河・宇宙論				銀 河 宇宙論, 位置天文, 天体力学					170~211	

☆ 講演時間は一題について 7 分です。講演者は割当時間を厳守して下さい。

☆ スライドは透視した時に正しい上下左右関係になるようにして, その手前側上方に講演番号と氏名, 映写順序番号を書き, 下縁に 5 mm 位の幅の赤線をつけて下さい。ピラは用いず, スライドは講演時間内に終了できる枚数にして下さい。オーバーヘッドプロジェクターも用意いたしますので希望の方は御利用下さい。

☆ 今回は講演開始が午前 9 時。講演終了が午後 5 時です。

☆ 18 日午前の講演終了後より理事会, 19 日の午前講演終了後より評議員会, 19 日午後の講演終了後 (午後 4 時頃) より総会 (天体発見賞贈呈, 諸報告, 57 年度予算, 評議員改選の件等について) を開催します。

☆ 記念写真撮影は 20 日午前の講演終了後行います。

☆ 懇親会は 19 日午後の総会終了後午後 5 時半頃より山上会議所において行われます。

第1日 5月17日(月) 午前9時より

1. こぐま座 β 流星群の著しい活動: 宮下曉彦 (東京天文台)
 2. FM 観測による流星エコー数の年周変化: 鈴木和博 (豊川工高)
 3. ELF-VLF 流星電波放射の発見: 渡辺 堯 (名大空電研), 鈴木和博 (豊川工高)
 4. 流星電波エコーのとどく条件: 長沢 工 (東大地震研)
 5. 地球の高層大気中の微隕石 (II): 上条文夫, 中田好一 (東大理)
 6. 隕石の破壊: 長谷川博一 (京大理)
 7. 小惑星の空間分布: 石田蕙一 (東京天文台), 三上孝雄 (東大理), 香西洋樹 (東京天文台)
 8. 小惑星エロスの多色変光・偏光観測: 富田弘一郎 (東京天文台), 中田好一 (東大理)
 9. ファミリーの考察から予想される小天体の内部構造: 藤原 顕 (京大理)
 10. 赤外域における金星の偏光観測: 長田哲也, 西田 稔, 佐藤修二 (京大理), 向井苑生, 向井 正 (金沢工大)
- (休 憩)
11. 火星大気の放射・対流平衡温度分布: 鳴海泰典 (九州東海大工)
 12. 惑星大気内輻射強度の決定について: 上野季夫 (金沢工大)
 13. Na を加えた SO_2 frost とイオの表面の色: 稲吉 彰, 岩沢一男, 武部尚雄 (成蹊大), 小山晃一 (近畿大)
 14. 長基線での木星電波シンチレーションの観測 (II): 前田耕一郎, 小田進幸 (兵庫医大)
 15. 太陽ニュートリノ捕獲断面積の理論計算: 伊藤直紀, 神山泰治 (上智大理工)
 16. 対流層の数値シミュレーション: 浦田健二 (東大理), 近藤正明 (東大教養)
 17. 天体内部の磁力線の運動学——太陽周期: 吉村宏和 (東大理)
 18. 境界面変化と大気変動の一例: 中川好成 (千葉工大)
 19. 黒点中のドップラー巾・減衰定数: 川上 肇 (東大理)
 20. クーデ型太陽望遠鏡機器偏光の解析: 牧田 貢, 浜名茂男, 西 恵三 (東京天文台), 川上 肇 (東大理)

第1日 5月17日(月) 午後1時15分より

21. ケニア日食分光観測 (III): 平山 淳, 入江 誠 (東京天文台)
 22. 静穏領域 EUV 放射の時間変化成分: 西川 宝 (京大理)
 23. 太陽周縁での EUV 輝線の Weakening: 神野光男 (飛驒天文台)
 24. スピキュール形成の際の断面積変化の影響: 末松芳法 (飛驒天文台)
 25. 彩層における非線型電磁流体波伝播 II: 柴田一成 (愛知教育大)
 26. 紅炎中のバルマー輝線の励起温度: 久保田 諄, 當村一朗 (花山天文台)
 27. D_1 ・ D_2 の強度比から見た Na I D 輝線現象: 二階堂義信, 川口市郎 (京大理)
 28. プロミネンスのフレアアップ現象: 川口市郎 (京大理)
 29. Limb event の分光観測: 中込慶光, 守山史生 (東京天文台)
 30. “ひのとり” による輝線スペクトルの観測 (IV) フレア加熱の2つのモード: 田中捷雄, 秋田 亨*, 渡辺鉄哉, 西 恵三, 宮崎英昭, 中桐正夫, 熊谷収可, 宮下正邦, 岡本富三, 入江 誠, 佐野一成 (東京天文台, 東大理*), 火の鳥チーム
 31. “ひのとり” による輝線スペクトルの観測 (V) 多温度解析: 秋田 亨 (東大理), 田中捷雄, 渡辺鉄哉, 西 恵三, 宮崎英昭, 中桐正夫, 宮下正邦, 岡本富三, 入江 誠, 佐野一成 (東京天文台), 火の鳥チーム
 32. “ひのとり” FLM によるフレア・プラズマの熱変遷: 渡辺鉄哉, 田中捷雄 (東京天文台), 秋田 亨 (東大理)
 33. “ひのとり” FLM から求めたフレアの温度と EM: 一本 潔, 當村一朗, 北原達正, 末松芳法, 神野光男 (京大理)
- (休 憩)
34. $H\alpha$ フレアの微細構造と, X線, μ 波バーストの相関 ——1981年9月7日のフレア——: 黒河宏企, 神野光男 (飛驒天文台)
 35. SXT による2次元形状からみた硬 X線フレアの種類: 大木健一郎 (東京天文台), 常田佐久, 高倉達雄, 新田就亮 (東大理), 小川原嘉明, 村上敏夫, 牧島一夫, 小田 稔 (宇宙科学研), 渋谷暢孝 (東京天文台), 他ひのとり観測チーム

36. 硬X線バーストのループ状放射源: 高倉達雄, 常田佐久, 新田就亮 (東大理), 大木健一郎 (東京天文台), 牧島一夫, 村上敏夫, 小川原嘉明, 小田 稔 (宇宙科学研)
37. コロナ中での硬X線フレア: 常田佐久, 高倉達雄, 新田就亮 (東大理), 大木健一郎, 渋谷暢孝 (東京天文台), 小川原嘉明, 村上敏夫, 牧島一夫, 小田 稔 (宇宙科学研), 近藤一郎 (東大宇宙線研), 「ひのとり」観測チーム
38. 「ひのとり」HXM による硬X線スペクトルの観測: 新田就亮, 大木健一郎†, 高倉達雄, 小川原嘉明*, 村上敏夫*, 牧島一夫*, 常田佐久, 小田 稔*, 近藤一郎††, 渋谷暢孝† (東大理, †東京天文台, *宇宙科学研, ††東大宇宙線研)
39. ひのとりによる太陽ガンマ線の観測: 平島 洋, 吉森正人, 奥平清昭 (立大理), 近藤一郎 (東大宇宙線研)
40. 太陽電波・硬X線バーストの新モデル: 甲斐敬造 (東京天文台)
41. インパルシブ硬X線バーストのモデル: 鈴木育郎 (名大理)
42. 太陽フレアの電波源とX線源: 河鱈公昭, 小川英夫, *高倉達雄, **大木健一郎, *常田佐久 (名大理, *東大理, **東京天文台)
43. μ 波電波源の高さと黒点上空のコロナ: 柴崎清登 (名大空電研)
44. 太陽近傍プラズマのシミュレーション解析: 鷺見治一, 荻野竜樹 (名大空電研)
45. IMF 極性反転面の構造: 鎌木 修, 今井富夫 (東北大)

第2日 5月18日(火) 午前9時より

46. 輻射平均強度と流束の数値積分について: 吉岡一男 (日本私学教育研究所), 成相恭二 (東京天文台)
47. 潜対流の線型モデル(II)——境界層問題: 近藤正明 (東大教養), 海野和二郎 (東大理)
48. 恒星の二層モデルにおける熱的緩和振動: 安富 允 (名古屋大理)
49. 自転星の子午面環流: 尾崎洋二 (東大理)
50. AFGL 源の偏光観測: 大谷 浩, 菊池 仙*, 三上良孝*, S. ヴィラミハルジャ, 高柳和智** (京大理, 東京天文台*, 竜谷大**)
51. 恒星赤外スペクトルにおける H_2 4重極遷移: 辻 隆 (東京天文台)
52. 炭素星 U Cygni の CN 分子二重線: 平井正則 (福教大)
53. 炭素星の近赤外域測光: 佐藤修二, 長谷川博一 (京大理), 葉紀榮, 胡景耀 (北京天文台), 黄福金, 劉彩品 (紫金山天文台), 祝 捷, 蘇定強 (南京天儀廠)
54. CH Cygni の circumstellar lines とその視線速度: 柳 桂和 (東大理), 山下泰正 (東京天文台)
55. 種族 I ケフェイドのシュミレーション(I): 相川利樹, 氏家慧一, 奥田 亨*, 竹内 峯 (東北大, *北教大函館分校)

(休 憩)

56. Quantitative Spectral Classification of OBA Stars on Objective-prism Spectra: S. D. ヴィラミハルジャ (京大理)
57. 青色水平枝星のスペクトル解析: 小平桂一 (京大理), A. G. D. Philip (ダドレイ天文台)
58. プレオネの金属線解析: 1977年~1979年: 片平順一 (堺市科研), 平田龍幸 (京大理)
59. On the Stellar Activity of Pleione: R. Hirata (Univ. Kyoto), D. Ballereau, and A. M. Hubert-Delplace (Meudon Observatory)
60. Be 星エンベロープの力学モデル: 斎藤 衛 (京大理), 齊藤泰通 (岩手大教育)
61. IUE による Ap 星 HD 221568 の観測: 定金晃三 (大阪教育大), 寿岳潤 (東京天文台), 高田昌英 (東大理)
62. Am 食連星 AN And の分光観測: 中村泰久 (都立駒場高), 北村正利 (東京天文台)
63. 短周期非接触連星 BV Eri, BW Eri: 山崎篤磨 (東大教養), H. W. Duerbeck, M. T. Karimie (Univ. Bonn), D. Baade (Univ. Münster)
64. 接触連星系からのガス流出の数値計算: 松田卓也, 沢田恵介, 蜂巣 泉 (京大工)
65. 特異連星 BE UMa の食の発見: 安藤裕康, 岡崎 彰, 西村史朗 (東京天文台)

第2日 5月18日(火) 午後1時15分より

66. 回転ポリトロープの分裂と連星系の生成: 蜂巢 泉(京大工), 江里口良治(東大教養)
67. 二重リング・多連星平衡形状: 江里口良治(東大教養), 蜂巢 泉(京大工)
68. ベータ平衡物質からなる回転星の安定性: 木口勝義, 佐藤勝彦(京大理)
69. BW Vul 紫外吸収線の視線速度に見られる LEVEL 効果: 伊藤 胖(秋田大教育)
70. 特異輝線星 HBV 475 の低温高速膨脹殻の検出: 田村真一(東北大理)
71. オリオン領域の真空紫外域分光測光観測: 沢村峰夫, 小平桂一, 田中 済, 尾中 敬(東大理), 渡辺鉄哉, 西惠三(東京天文台)
72. 激変星 AC Cnc の発見: 岡崎 彰, 北村正利(東京天文台), 山崎篤磨(東大教養)
73. 激変星の進化と I 型超新星爆発: 藤本正行(新大教育), R. E. Taam(ノースウェスト大)
74. 星の進化の爆発的段階における元素合成: 橋本正章(早大理工), 花輪知幸(東大理), 杉本大一郎(東大教養)
75. I 型超新星爆発のモデル: 野本憲一(東大教養)
76. ニュートリノ・トラッピングで超新星は爆発するか: 高原まり子(東大教養), 佐藤勝彦(京大理)
77. 中性子星からの質量放出 (I): 戎崎俊一, 花輪知幸(東大理), 杉本大一郎(東大教養)

(休憩)

78. 中性子星からの質量放出 (II): 加藤万里子(東大理)
79. 連星系での中性子星の熱的進化: 花輪知幸(東大理), 藤本正行(新潟大教育)
80. T Tau 型星活動の磁気質量吸着モデル: 内田 豊(東京天文台)
81. 磁気星の相対論的重力崩壊: formalism と初期条件: 大原謙一(京大理), 前田恵一(京大基研)
82. アクリーション・ディスク中の非定常現象: 福江 純(京大理)
83. 磁気降着円盤の鉛垂構造について: 堀内利得(広大理論研)
84. 回転する星の磁気圏: 柴田晋平(東北大理)
85. 磁場を伴う星風の臨界解: 桜井 隆(東大理)
86. ひのとりによる宇宙ガンマ線バーストの観測: 吉森正人, 奥平清昭, 平島 洋(立大理), 近藤一郎(東大宇宙線研), ひのとり硬X線グループ
87. X線バーストの光・X線の相関: 津野克彦, 宮本重徳, 常深 博, 山下広順(阪大理), 満田和久, 大橋隆哉, 松岡 勝, 井上 一, 小山勝二, 牧島一夫, 横野文命, 村上敏夫, 小田 稔, 小川原嘉明, 柴崎徳明, 田中靖郎(宇宙研), 早川幸男, 国枝秀世, 政井邦昭, 長瀬文昭, 田原 譲(名大理), 近藤一郎(東大宇宙線研)
88. Vela X-1 のX線光度の公転周期依存性: 佐藤尚久, 早川幸男, 長瀬文昭, 他白鳥チーム
89. Gas Disk Traverse Model for Transient X-ray Sources: 柴崎徳明^A, 他白鳥チーム^{A,B,C,D}(宇宙研^A, 名大^B, 阪大^C, 宇宙線研^D)

第3日 5月19日(水) 午前9時より

90. ゆっくりと動く天体を過ぎる粘性流: 桜井健郎(京大工)
91. 高密度星間雲中での荷電粒子密度: 梅林豊治(京大理)
92. 磁気雲の収縮と星の磁場の起源: 中野武宣, 梅林豊治(京大理)
93. H II 領域の水素原子の Population Structure: 篠原正雄(東大理)
94. 星間 H I ガスにおける熱不安定性の連鎖反応について: 佐場野 裕(東北大理), 祖父江義明(東京天文台)
95. 衝撃波の累積圧縮による fragmentation: 吉井 譲(東京天文台), 佐場野 裕(東北大理)
96. 等温ガス雲の重力収縮 (3次元シミュレーション): 観山正見(京大理)
97. Collapsing Gas Clouds の形状について: 成田真二(同志社大工), 観山正見, 林忠四郎(京大理)
98. 星間物質の Limit Cycle モデル: 富田博之(京大教), 池内 了(北大理)
99. Shock Compressed Layer の重力不安定 II 磁場の効果: 富阪幸治, 池内 了(北大理)

(休憩)

100. グロビュールにおける H α 輝線星の探査: 小倉勝男(国学院大), 長谷川辰彦(東北大理)
101. Simple H II Regions の電離ガスと星間塵の分布: 仲野 誠, 小暮智一(京大理), 作花一志(京都コンピュータ学院), 水野 舜(金沢工大), 佐々木敏由紀, S. D. Wiramihardja(京大理)

102. B 361 方向の星間偏光観測 (I): 関 宗蔵 (東北大教養), 長谷川辰彦, 高窪啓弥 (東北大理), 菊池 仙, 三上良孝, 清水 実 (東京天文台)
103. 星周塵の形成と質量放出 (II): 小笹隆司, 関 淳二, 長谷川博一 (京大理)
104. オリオン星雲に広がる 2μ 赤外線源 (2): 直井雅文, 川良公明*, 舞原俊憲*, 寿岳 潤**, 富田弘一郎**, 斉藤馨児**, 大島紀夫**, 磯部瑠三** (東京学芸大, *京大理, **東京天文台)
105. オリオン領域の CO 分子線観測 (I): 藤本泰弘, 福井康雄, 小川英夫, 鷹野敏明 (名大理)
106. 220 nm 吸収を示す炭素質物質: 坂田 朗, 和田節子, 奥津佳之, 小針俊哉, 新谷治生 (電通大), 中田好一 (東大理)
107. 気相からの核生成実験: 尾中 敬*, アーノルド (カリフォルニア大, *現・東大理)
108. 炭素鎖分子成長による固体微粒子の形成: 鈴木博子 (京大理)
109. B 35 領域のプライトリム— HCO^+ 観測: 面高俊宏 (杏林大), 長谷川哲夫 (野辺山宇宙電波観測所), 亀谷 収 (東北大理), 林 正彦 (東大理)

第 3 日 5 月 19 日 (水) 午後 1 時 15 分より

110. TMC 1 領域の CO 分子線観測: 鷹野敏明, 小川英夫, 福井康雄 (名大理)
111. 高分解スペクトロメーターでみた巨大分子雲: 藤本光昭, 福井康雄 (名大理)
112. ^{13}CO Observations of W51 Region: 大石雅寿 (東大理), 小平眞次, 中村 強, 石井孝一 (木更津工専), 稲谷順司 (東京天文台)
113. ^{13}CO 輝線による銀経 1° 付近の survey: 中村 強, 小平眞次, 石井孝一 (木更津高専), 稲谷順司 (東京天文台)
114. 銀河系中心領域の CO 分子線観測: 川辺良平, 福井康雄, 小川英夫, 藤本光昭 (名大理)
115. 銀河系中心核方向の HC_3N , H_2CO 輝線: 福井康雄, 小川英夫, 川辺良平 (名大理), 出口修至 (FCRAO), 鈴木博子 (京大理)
116. Radio Loops の探索 (非常に古い SNRs?): 中井直正 (名大理), 祖父江義明 (東京天文台)
117. 45 m 鏡試験観測 (I)—アンテナ性能: 森本雅樹, 赤羽賢司, 海部宣男, 石黒正人, 宮地竹史, 平林 久, 祖父江義明, 稲谷順司, 宮沢敬輔, 井上 允, 近田義広, 長谷川哲夫 (野辺山宇宙電波観測所)
118. 45 m 鏡試験観測 (II)・スペクトル観測: 海部宣男, 稲谷順司, 長谷川哲夫, 宮地竹史, 石黒正人, 森本雅樹, 赤羽賢司, 平林 久, 井上 允, 近田義広, 高原文郎, 神沢富雄 (野辺山宇宙電波観測所)
119. 45 m 鏡試験観測 (III)—太陽のマッピング: 石黒正人, 井上 允, 稲谷順司, 長谷川哲夫, 海部宣男, 森本雅樹 (野辺山宇宙電波観測所)
120. 45 m 電波望遠鏡のフロント・エンド現況: 稲谷順司, 森本雅樹, 海部宣男, 赤羽賢司, 宮沢敬輔, 長谷川哲夫, 長根 潔, 平林 久 (東京天文台)
121. 45 m 望遠鏡用ミリ波冷却受信機の製作: 長谷川哲夫, 稲谷順司, 海部宣男, 宮沢敬輔, 神沢富雄 (野辺山宇宙電波観測所), 小平眞次 (木更津高専), 面高俊宏 (杏林大), 林 正彦 (東大・理)
122. 野辺山 45 m 鏡のソフトウェア開発状況報告: 近田義広, 石黒正人, 平林 久, 宮地竹史, 井上 允, 長谷川哲夫, 神沢富雄 (東京天文台・野辺山宇宙電波観測所)
123. ミリ波低雑音受信機の試作: 小平眞次, 石井孝一, 中村 強 (木更津高専), 稲谷順司, 宮沢敬輔 (東京天文台)
124. 1.5 m 短ミリ波望遠鏡 (IV): 杉谷光司, 小川英夫, 河鱈公昭, 川辺良平, 加藤龍司, 鷹野敏明, 林 良一, 福井康雄, 藤本泰弘 (名大理)
125. 4 m 短ミリ波望遠鏡計画 (II): 小川英夫, 河鱈公昭, 加藤龍司, 川辺良平, 鷹野敏明, 福井康雄, 藤本光昭, 藤本泰弘, 林 良一 (名大理)
126. Minimum Redundancy Phase Closure Array: 森田耕一郎 (名大空電研), 石黒正人 (東京天文台)

第 4 日 5 月 20 日 (木) 午前 9 時より

127. 広視野フェーズド・アレイの感度: 大師堂経明 (早大教育)
128. Modified CLEAN による SXT 像合成法: 小杉健郎 (東京天文台)
129. UHF 太陽風観測装置 (III): 小島正宜, 石田善雄, 丸山一夫, 柿沼隆清 (名大空電)

130. 多相関型電波干渉計用広帯域1ビット相関器の試作: 西尾正則, 築地義雄, 鰐目信三, 柴崎清登, 森田耕一郎 (名大空電研)
131. 計算機プログラムを用いた軸外放物鏡面検査の検討: 馬場直志 (千葉大工), 磯部秀三, 野口 猛 (東京天文台), L. Golden (Kitt Peak Nat. Obs.)
132. ハネカム方式による大型軽量鏡の鑄造: 野口 猛, 磯部秀三 (東京天文台), 馬場直志 (千葉大), 馬渡正秀 (小原光学硝子 K. K.), R. Angel (アリゾナ大)
133. F比の小さい望遠鏡に関する一考察: 磯部秀三 (東京天文台), Epps (UCLA)
134. ステラー・マグネットグラフの調整と観測: 石橋史朗 (東大理), 成相恭二, 乗本祐慈, 渡辺悦二 (東京天文台)
135. 多色偏光測光装置の性能と現状: 三上良孝, 菊池 仙, 柴崎 肇, 山口達二郎, 飯塚吉三, 野口本和 (東京天文台), 昆野正博 (駿台学園高), 芝山京子 (宇都宮大教育)
136. 多色偏光測光装置の周辺機構の充実: 山口達二郎, 飯塚吉三, 柴崎 肇, 野口本和, 三上良孝, 菊池 仙 (東京天文台), 昆野正博 (駿台学園高)

(休 憩)

137. 新 30 cm 反射望遠鏡の測光装置: 佐藤英男, 西野洋平, 土屋 淳 (東京天文台)
138. 太陽面輝度測定装置: 浜名茂男, 宮沢正英, 水垣和夫, 平山 淳 (東京天文台)
139. サブビーム・プリズムを用いた微光天体の光度較正: 征矢野隆夫, 野口 猛, 前原英夫, 石田薫一 (東京天文台)
140. フォーミングガスを用いた超増感: 青木 勉 (東京天文台)
141. オーバーレイ・マップの作成: 佐々木敏由紀 (京大理)
142. 星消去式光電測光器: 田鍋浩義, 嵩地 厚, 宮下暁彦 (東京天文台)
143. 太陽極紫外領域分光測光望遠鏡: 西 恵三, 平山 淳, 田中捷雄, 渡辺鉄哉, 山口朝三, 中桐正夫 (東京天文台)
144. ロケット (S 520-3CN) 搭載用真空紫外分光測光望遠鏡: 田中 済, 小平桂一, 尾中 敬, 沢村峰夫, 秋田 亨 (東大理), 西 恵三, 渡辺鉄哉, 山口朝三, 中桐正夫 (東京天文台)
145. ロケットによる超流動 He の無重力実験: 野口邦男, 早川幸男, 松本敏雄, 村上 浩, 宇山喜一郎 (名大理), 村上正秀, 中庭典行 (筑波大構造), 永野 弘 (東大物性研)
146. 近赤外域 Fabry-Pérot 分光器: 田中培生, 佐藤修二 (京大理), 奥田治之 (宇宙科学研)

第4日 5月20日(木) 午後1時15分より

147. K-3 型データリダクション用ソフトウェアの設計: 国森裕生, 近藤哲朗 (電波研鹿島)
148. K-3 型自動運用ソフトウェア (KAOS): 村上秀俊, 高橋富士信, 国森裕生 (電波研鹿島), 鈴木保立 (日本電子開発)
149. 最近の MK-III データベースについて: 小池国正, 吉野泰造, 高橋富士信 (電波研鹿島)
150. 大地雑音の評価による水蒸気ラジオメータのアンテナパターンの必要条件の検討: 黒岩博司, 川口則幸 (電波研鹿島)
151. VLBI 観測量に及ぼす周波数揺ぎの影響: 川口則幸 (電波研鹿島)
152. 遅延時間測定用 VLBI の専用アンテナに関する考察: 藤下光身, VLBI 研究グループ (緯度観測所)
153. 最尤法による F, G, K, M 型星の絶対等級の決定: 三上孝雄 (東大理), André Heck (IUE 天文台)
154. バーナード・ループ内の星の分布: 西野洋平, 磯部秀三, 佐々木五郎 (東京天文台)
155. 輝線天体のサーベイ: 前原英夫 (東京天文台)
156. 銀河系中心領域方向の星間吸収分布: 市川 隆 (京大理), 浜島清利, 石田薫一 (東京天文台), B. Hidayat, M. Raharto (Bosscha 天文台)
157. 銀河面における近赤外線源のカウント: 川良公明, 小笹隆司, 佐藤修二 (京大理), 小林行泰 (宇宙線研), 奥田治之 (宇宙研), 寿岳潤 (東京天文台)
158. 銀河系バルジの構造: 小泉 裕, 早川幸男, 松本敏雄, 村上 浩, 宇山喜一郎 (名大理), 山上隆正 (宇宙研), J. A. Thomas (メルボルン大)

(休 憩)

159. 銀河系のガスの状態の関係について: 祖父江義明 (東京天文台), 沢 武文 (愛知教育大)

160. 分子雲“ガス”系における有効な粘性とその効果: 福長正考 (東北大理)
161. 銀河磁場: 祖父江義明 (東京天文台), 藤本光昭 (名大理)
162. 銀河衝撃波における星生成の効果: 土佐 誠 (名大理)
163. 銀極方向密度分布から考察した化学進化: 大道 卓 (東北大理), 吉井 譲 (東京天文台)
164. 球状星団の CNO 量と年齢: 有本信雄, 中村誠臣 (東北大理)
165. Dynamical Evolution of Spherical Systems—Stability of King's Model: P. Wiyanto and S. Kato (University of Kyoto)
166. NGC 4762 の空間光度分布: 浜部 勝 (東大理), 若松謙一 (岐阜大)
167. S0 銀河 NGC 4762 内の色の分布: 大脇直明 (東京学芸大), 根岸 潔 (都立富士森高校)
168. 円盤銀河の楕円構造の軸比・位置角 (II): 水野孝雄 (東京学芸大教育), 浜島清利 (東京天文台)
169. A Prolate Model of Elliptical Galaxies: 森田一彦 (北大理)

第5日 5月21日 (金) 午前9時より

170. 重力系の速い緩和の現象論: 会津 晃 (立教大理)
 171. M 31 と伴星雲 NGC 205 の重力相互作用: 佐藤 昇, 沢 武文 (愛知教育大)
 172. マージャーの密度分布: 石沢俊亮 (京大理)
 173. 銀河団における Dynamical Friction の効果 II. ——Secondary Maximum について——: 藤嶋康夫, 土佐 誠 (名大理)
 174. Phase-Change Model of Galaxies II.: 田中 裕 (京大理), 池内 了, 羽部朝男 (北大理)
 175. セイファート銀河と超銀河団: 山本将史, 佐々木 実, 兼古 昇, 西村雅樹 (北大理)
 176. Group of Galaxies—Cet I Group の構造: 西村雅樹, 兼古 昇, 山本将史, 外山清高 (北大理)
 177. ビーム流の構造と膨脹則: 横沢正芳 (茨大理), 池内 了, 坂下志郎 (北大理)
 178. 薄い定常降着円盤の内縁近傍の構造: 加藤正二 (京大理)
 179. 木曾紫外超過銀河の形態およびスペクトル (II): 高瀬文志郎, 野口 猛, 前原英夫 (東京天文台)
- (休 憩)
180. Markarian 326 (non-Seyfert 的輝線銀河核) の分光観測: 谷口義明, 田村眞一 (東北大理)
 181. 特異銀河 MCG 5-29-86: 若松謙一 (岐大工短), H. C. Arp (CIW)
 182. BL Lac Objects の短期変動: 菊池 仙, 三上良孝, 沖田喜一, 柴崎 肇, 山口達二郎, 野口本和, 飯塚吉三 (東京天文台)
 183. QSO の統計的研究 II: 三好 蕃 (京都産大理)
 184. 膨脹宇宙における相互作用による粒子生成: 黒田友二, 成相秀一 (広大理論研)
 185. ニュートリノ優勢宇宙と銀河形成: 富田憲二 (広大理論研)
 186. Superposed Two Kerr-NUT 解の性質: 木原正博, 富松 彰 (広大理論研)
 187. 宇宙初期の長波長ゆらぎと宇宙黒体輻射: 田辺健茲, 富田憲二 (広大理論研)
 188. 閉じた膨脹宇宙における量子論的スカラー場: 石原秀樹, 成相秀一 (広大理論研)
 189. 宇宙の一次相転移と Baryon-Monopole 問題: 伊沢瑞夫, 佐藤勝彦 (京大理)

第5日 5月21日 (金) 午後1時15分より

190. O_4 重力理論における Dirac の巨大数仮説と粒子生成: 小幡常啓 (東北大工), 大嶋 洋 (東邦大)
191. 異方膨脹と保存量: 久保守正 (東海代理・コスモ)
192. 統一宇宙像による重力湧出論: 黒河徹次 (西新サービス)
193. 天文座標系の左右問題: 若生康二郎, 大江昌嗣 (緯度観測所)
194. ドップラー観測における電離層の影響 II: 佐藤克久, 原 忠徳 (緯度観測所)
195. 東京の子午環観測の系統差及び精度: 原 寿男, 古川麒一郎 (東京天文台)
196. 自動光電子午環 (IV): 宮本昌典 他, 子午線部 (東京天文台)
197. 自動光電子午環 (PMC 190) の観測精度 (IV): 吉澤正則 (東京天文台), 安田春雄
198. 自動光電子午環の目盛誤差検出法 (II): 石井 久, 宮本昌典 (東京天文台)

- 199. 最近の世界の光学的時刻観測: 関口直甫 (東京天文台)
- 200. 放送衛星による時刻比較の軌道誤差: 川瀬成一郎, 佐藤得男 (電波研)
(休憩)
- 201. 地球回転運動観測に及ぼす海洋潮汐の影響: 菊池岩夫, 笹尾哲夫 (緯度観測所)
- 202. VLBI 測地観測の最速スケジュール: 中嶋浩一 (東京天文台)
- 203. Proper Reference Frame の VLBI 観測方程式への応用: 松坂 茂 (東大理), 藤本真克, 青木信仰, 中嶋浩一
(東京天文台)
- 204. 一般相対論に基づく視位置計算法: 福島登志夫 (水路部)
- 205. ELP 2000 による星食解析 (1979-80 年分): 相馬 充 (東大理)
- 206. 日本・中国・朝鮮の月星の食犯の古記録: 齊藤国治 (日大文理)
- 207. 代数積分存在のための必要条件 (I): 吉田春夫 (東大理)
- 208. 3 次のカプリングポテンシャルと積分: 堀 源一郎 (東大理)
- 209. 土星の衛星イアペツスの軌道改良: 畑中至純 (東京天文台)
- 210. フーリエ・チェビシェフ近似の月・惑星暦への応用: 中井 宏, 木下 宙 (東京天文台)
- 211. オイラーの運動方程式の拡張: チャンドラー周期の年周変化: 全 麒在

~~~~~  
お 知 ら せ  
~~~~~

宇宙科学研究所教官公募

このたび, 下記の要領により, 教官公募を行いますので, 広く適任者の推薦応募を求めます。

- 1. 公募人員 助手 1名
- 2. 所属部門及び内容
太陽系プラズマ研究系: 磁気圏電波科学部門
助手
科学衛星観測により, 磁気圏プラズマ物理学の研究を行うため, 新たな観測計器を開発し実験に参加する。
同部門には, 教授 大林辰蔵, 助教授 鶴田浩一郎が在任中である。
- 3. 必要書類 1) 略歴
2) 研究歴 (B5)
3) 論文リスト及び主要論文別刷各1部 (B5)
4) 他薦の場合: 推薦書,
自薦の場合: 本人について意見を述べられる人, 2名 (氏名・連絡先)
- 4. 締 切 昭和57年6月10日 (必着)
- 5. 着任時期 決定後なるべく早い時期。
- 6. 選 考 選考は, 宇宙科学研究所運営協議員会議に於いて行います。応募者中に適任者がいない場合, 決定を保留することがあります。
- 7. そ の 他 宇宙研究所は, 東京大学宇宙航空研究所が発展的に改組し, 昭和56年4月

14日付けで, 新たに発足した国立大学共同利用機関です。国内に於ける共同研究並びに国際協力に積極的役割を果す人を希望します。

- 8. 宛 先 宇宙科学研究所長 森 大吉郎
〒153 東京都目黒区駒場 4-6-1
電話 03-467-1111 (代表)
- 9. 問 合 せ 不明の点, 及び資料の請求は下記に願います。
太陽系プラズマ研究系 大林辰蔵
内線 320

封筒の表に「助手応募(推薦)書類在中」と明記ください。

名古屋大学理学部物理学教室 教官公募

- 1. 職名, 人数 助教授, 1名
- 2. 所 属 物理学教室U研
- 3. 専門分野 X線天文学
(現在進行中の衛星計画及びこれによる観測を指導的な立場で進めて頂けることを期待する。)
- 4. 着任時期 決定後できるだけ早い時期
- 5. 任 期 7 ± 2年
- 6. 提出書類 履歴書, 研究歴, 論文リスト
主要論文別刷, 研究計画
- 7. 締 切 1982年5月31日(月)
- 8. 宛 先 〒464 名古屋市千種区不老町
名古屋大学理学部物理学教室
永井ひろ美
052-781-5111 内線 2451
- 9. そ の 他 封筒に「応募書類」と朱記して下さい。